

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイント合同会社 児童デイサービスばれっとKids		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 25日 ～ 令和7年 4月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	8
○従業員評価実施期間	令和7年 3月 25日 ～ 令和7年 4月 25日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月28 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	毎日始業前には朝のカンファレンス時間を設け、送迎の確認やその日の利用児童の状態・スケジュールの確認を行っている	昼から出勤するパート従業員も併せて情報共有ができるように、申し送りを2部構成にすることの検討。2部構成にすることで、半日のスケジュール遂行確認もできると考える。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	送迎の際は保護者とその日の様子をお伝えするだけでなく、ケアについてや困りごとをお伺いしながら信頼関係の構築を行っている。	個別支援計画書をさらに活用し、適宜見直しも含めながら保護者との共通理解を深める
3	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	ホームページに支援プログラムを提示するほか、インスタグラム等のSNSで日々の活動の様子を発信している。	いままでの投稿だけでなく、ストーリー機能の活用や、投稿頻度を増やす。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	学校からの下校時間と帰る時間が短く、おやつやおむつ交換で時間がいっぱいになってしまっている。	長期休暇や祝日には地域交流を意識した活動プランを組み込む。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機械を設ける等の支援をしているか。	以前は夏祭りやクリスマス会に保護者も参加していたが、その際に家族会を行っていたが、コロナの流行後より大規模な祭りができていない。	感染症の流行に注意しながら、保護者や兄弟も参加し交流ができる機会を設ける。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	以前はハロウィンなどのイベントの際に近所のこども達を招き交流を行っていたが、コロナの流行後より招いての地域交流ができていない。	イベントプログラムの中に地域交流を見据えた計画を入れる。